平成29年度 法人後見支援事業 成年後見制度利用促進に関するアンケート **障害のある方の家族等 訪問ヒアリング報告**

障害者施設等を運営する法人を対象に「成年後見制度利用促進に関するアンケート」を実施しました。これに関連して、成年後見制度を利用する側であるご本人に最も近い存在であるご家族(家族会)に成年後見制度に関することや法人後見についてヒアリングを実施しました。 ※実施時期:平成29年10月

ヒアリングした家族等

○市内の障害者団体(知的・精神)2団体に所属するご家族

ヒアリング内容

- 1) 現在、成年後見制度を利用している方のご本人やご家族に伺います。
 - ・制度利用をしてよかったことは何ですか。
 - 困っていること等があればお聞かせください。
 - ・制度を利用している中で課題だと思うことをお教えください。
- (2) 成年後見制度の利用をしていないご本人やご家族に伺います。
 - ・制度利用が必要と思わない理由は何ですか。
- (3) 成年後見制度利用の必要性を感じているにも関わらず、利用していない方や ご家族に伺います。
 - ・制度利用を躊躇する理由は何ですか。
- (4) 法人後見に期待することは何ですか。
 - 5) どのような後見の担い手がいればいいと思いますか。

1、成年後見制度を利用している方のご家族へ

制度利用して良かったこと、困っていること、課題だと思うこと等についてお聞かせください。

・現在、親族が後見人になっているが、申立てする際の家庭裁判所の手続きが大変。他の人で専門家に申立てをお手伝いしてもらったところ、楽だったと。市ACも含めて申立支援をしてもらえれば制度を利用したいという気になると思う。

2、成年後見制度を利用をしていないご家族へ

制度利用が必要と思わない理由についてお聞かせください。

- ・後見人がいないと困るという現実がない、後見人の必要性を感じないから制度利用をしていないということだと思う。
- ・当事者が、自分でお金の管理(貯金も含めて)をしており、親から見て、現状では問題ないと判断している。
- ・本人に兄弟がいて親がお金を遺してくれれば面倒をみるから大丈夫だと言ってくれている。
- ・後見人には毎月経費がかかると聞いている。いよいよであれば、親が後見人にならねばならないと思っている(今は使わない)。

3、成年後見制度利用の必要性を感じているにも関わらず、利用していないご 家族へ

制度利用を躊躇する理由についてお聞かせください。

- ・制度利用のイメージがつきづらい。
- ・ゆくゆくは考えていかなければならないことだが、初めて聞くことが多くて難しい。
- ・研修会で話を聞いてもとても難しく、話についていくのが大変。
- ・研修会1回ではとても難しくて理解できない。
- ・本当に必要なことだと思うが、制度が分かりにくいと思う。手続きが複雑。
- ・後見人として依頼する相手が見つからないため。
- ・後見人の引き受け手として、親以外に親戚も検討したが、関係性が不安定なので、頼むかどうか決めかねている。
- ・今必要がないからいいというのではなく、自分たちがいなくなった場合のことを今から考えて準備しなければならないことは理解しているが、先輩の親御さんから「何とかなる」と言われると積極的になれない。
- ・支援者としても様々な制度のある中で、後見を使うタイミング(特に横浜だとあんしんセンターや自アシ)など様々な制度があるのでどういう使い分けをしていったらよいか判断に迷う。
- ・親亡き後が不安なので備えるためにはどうしたらいいかと迷っている。
- ・シビアな問題であるだけに、踏み込んだ話は難しい。問題が起きた時にあんしんセンターに相談に行くのがいいと思った。
- ・制度の必要性は感じたが、子どもは20歳なので今すぐという感じではない。相続等で必要性があれば検討か。

4、法人後見に期待することは何ですか。

- ・安心して託せるのは法人後見か。法人後見をもっと進めてほしい。法人後見を行うところが多ければ、その中で自分の子どもにあった法人を見つけることもできる。法人後見への期待や希望者は多いが、頼めるところが少なく、仕方なく個人の後見人に依頼している状況。
- ・法人で受けると、担当者は1人かもしれないが、その担当者が抜けたとしても他に担当替えが可能(カバーできる)な点。
- ・受任者には、精神障害に関して理解のある方に引き受けてもらいたい。
- ・制度利用を親のいるうちから開始した場合には、法人で上手くつないでもらいたいと思っている。

5、どのような後見の担い手がいればいいと思いますか。

- ・親以外の後見人が必要。障害に理解があり、専門性をもって意思決定支援ができる担い手がいると良い。
- ・本人の意思をくみとってくれる担い手がいればいいと思う。
- ・横浜市が養成している市民後見人に期待している。

6、その他

- ・成年後見制度の必要性をもっとPRする必要があるのではないか。届いてこない。
- ・精神障害に特化した社会福祉法人に、後見受任をお願いしたかったが、利益相反の問題があるとのことで断られた。
- ・(区域の)会主催の勉強会を予定している。メンバーからは「うちは」財産がないから制度利用の必要はないとの声が上がっている。財産管理だけでなく、本人の人権を守る意味があるのであって、広報・啓発活動時にぜひ強調してPR頂きたい。
- ・成年後見制度の勉強を始めたばかりで法人後見という言葉を初めて聞いた。